

「令和6年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート (No.7)」

■ 研修時期・研修先

時期：令和6年8月30日（1日）

研修先：株式会社いわて若江農園（盛岡市）

■ 研修生について

今回は、いずれも岩手県内の在住者で、3名合同での申込みにより実施しました。Hさんは、「大規模に行っている農業の様子を見たり聞いたりしたい。」Iさんは、「様々な農業法人等で研修してみたい。」Jさんは、「実際に大規模農園の作業の流れや仕組みなどを見てみたい。」と申込みいただきました。

■ 研修先の概要

平成28年1月に法人設立、栽培面積は63a、環境制御機器を導入しトマト・ミニトマトを専業に通年栽培、通年出荷、通年雇用を行っています。

大玉トマトの収穫量は、40t/10aと県平均の約6倍を収穫し、「強い農業生産法人を構築し、誇れる一次産業を目指す。」を経営ビジョンに掲げ、他産業並みの所得水準、労働環境に向けて取り組んでいます。

次の担い手の経営モデルになればと、研修生の受入にも積極的に取り組んでおり、新規就農へのアドバイスを行っています。

【HP】 https://agri.mynavi.jp/2020_07_01_120709/

※「マイナビ農業」タイアップ記事

【FB】 <https://www.facebook.com/wakaefarm/>

■ 研修の内容

ミニトマトの収穫・調製・調製袋シール貼り作業及び座学を実施しました。

また、研修先より、今後の就農にあたっては、ステップを踏んだ研修を受けるのが良いとのアドバイスがありました。



■ 研修の感想

- ・ 大規模にやっていることのすごさと通年栽培、通年出荷、通年雇用がされているところが素晴らしかった。（Hさん）
- ・ 作業で失敗した話や経営についての話が聞けたのが良かったです。（Iさん）
- ・ これから、どの様に農業に携われるか、アドバイスをいただけて良かったです。（Jさん）



■ 今後の予定

- ・ 他の研修先にも行ってみたい。近い将来雇用就農したい。（Hさん）
- ・ 現在の職業を継続します。（Iさん）
- ・ 近い将来、独立自営で始めたい。（Jさん）